

新聞掲載記事より

【質問】健康診断で、症状がないのに腎臓機能が低下しており、慢性腎臓病（CKD）が疑われると言われました。今後、透析になるのが心配です。（55歳女性）

慢性腎臓病の患者増加

【回答】腎臓の機能が低下すると、人工透析になる可能性も否定できませんが、適切な治療により悪化を防ぐ方法があります。

まず、腎臓について知りましょう。腎臓は、腰の高さに左右2個ある10センチ大のそら豆型の臓器です。その機能は大きく分けて二つあります。

一つは尿をつくる作用。不要な水分や老廃物、電解質などを調節し体外へ出します。もう一つは内分泌器

官としての作用で、血圧の調節や骨の維持、赤血球をつくる際に必要な物質を分泌します。いずれも人の体を調整する上で欠かせない働きです。

腎臓の働きが少々悪くなくても、自覚症状はほとんどありません。CKDは腎臓機能が慢性的に低下し

約8人に1人がCKDとされ、新たな国民病といわれています。CKDには高血圧、糖尿病、メタボリック症候群や脱水、薬剤など多くの原因が関わっています。これら

健診受け重症化予防を

県内の医師や栄養士ら連携

た状態の総称で、最近患者が増えています。日本では約1330万人、成人の

CKD対策検討委員会を設置し、医師会と共に県内各

地で医師を対象にCKDの治療や連携について研修会を行いました。栄養士会なども生活や栄養指導のための研修会を開催し、訪問指導などを行うことができます。



適切に行うことで悪化を防ぐことができます。そのためにはまず、健康診断を受けて、自身の腎臓の状態を知った後にかかりつけ医を受診することが大切です。

さらに、かかりつけ医から専門医や保健・栄養指導への連携を取ることで、CKDの悪化を予防することが可能となります。透析の原因疾患で最も多い、糖尿病性腎症の重症化予防も行っていきます。

CKDの悪化は腎機能を低下させるだけでなく、心臓病や脳卒中などの心血管疾患にかかりやすくなるといった問題もあります。健康診断を受ける習慣を身に付け、腎機能異常を指摘されたら、かかりつけ医に早く相談するようにしましょう。（県医師会）

質問をどうぞ

この欄では県医師会が医療制度全般の質問にお答えします。質問希望の方は知りたい内容を分かりやすくまとめ、〒852-8601、長崎市茂里町3の1、長崎新聞社生活文化部「医療制度Q&A」係までお送りください。不明な点をお聞きする場合がありますので住所、氏名、年齢、性別、電話番号を明記してください。なお、直接本人への回答はいたしません。